

事業名		青少年活動の推進				評価実施者		所 属 社会教育課 職・氏名 南 健 次		
主要事業の概要	開始年度	根拠法令等					特定財源			
	実施方法	☐ 直接 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔 〕								
	目 的	青少年の成長段階に応じた各種体験活動等に参加する機会を提供し、青少年の豊かな社会性と人間性を育むことを目的とする。								
	事業内容	(1) 「滝川遊学会事業」として、子どもの元気応援団、滝川スポーツクラブ、たきかわ環境フォーラム等の市内のボラン ティアの支援によるスポーツ、レクリエーション、自然体験などの各種体験事業の実施。※H20年度主要 施策 (2) 滝川市青少年育成会と滝川市地域活動連絡協議会との連携による青少年健全育成事業の実施。								
事業コスト	区 分	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	特 記 事 項			
	事業費(A)	339	223	250	230	230	遊学会事業費			
	うち一般財源			250	230	230	～H18年度 道費補助金			
	人件費(B)						H19年度～ 市補助金			
	総コスト(A)+(B)	339	223	250	230	230	※単位:千円			
実績と成果	区 分		単位	H17	H18	H19	H20	H21	左記以外の20年度の実績・成果	
	事業の実績 (アウトプット)	1	遊学会事業(参加者)	人	609	838	677	596		H19～事業内容を見直し新規体験事業を実施 ※別紙資料(H20年度 滝川遊学会事業実績)の とおり
		2								
		3								
	事業の成果 (アウトカム)	1								
		2								
		3								
評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察								
1 適応性 有効性	10	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。							■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		②事業の目的に照らして効果的な手法か。							■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		地域の子どもの遊びやふれ合いの機会、異年齢間の交流、自然体験、社会体験の機会が減少し、社会の ルールや競争意識、思いやりなどを子どもたちが学ぶ貴重な場や機会が減少している。また、文部科学省におて も、学校教育や社会教育においての体験活動による青少年の健全育成を推奨している。 青少年が健全に育成される社会の実現には、家庭、学校、地域、社会教育関係団体、事業者、ボランティア等と 連携するなど、まわりのみで取り組むことが重要である。そのようなことから、平成20年度の主要施策である「滝川遊 学会事業」も、子どもの元気応援団、滝川スポーツクラブ、たきかわ環境フォーラム等と連携し、各種体験事業に参 加する機会を提供した。								
2 目標 達成度	9	③目標の水準は適切か。							■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		④計画通りに目標を達成できたか。							□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
各種体験型プログラムを取り入れて事業内容の充実を図るとともに、子どもの元気応援団、滝川スポーツクラブ、た きかわ環境フォーラム等の主体的な事業運営により成果を上げている。										
3 経済性	5	⑤コストは縮減しているか。							■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		子どもの元気応援団、滝川スポーツクラブ、たきかわ環境フォーラム等との事業連携(共催)やボランティア支援に より、コストの縮減が図られるとともに、事業実施に係わる事務の効率化が図られている。								
総合 評価	合計 ↓	24 /25	ランク (A～E)	上記評価を 踏まえた事 業の課題						
	100点 換算	96 /100	A	引き続き、子どもの元気応援団、滝川スポーツクラブ、たきかわ環境フォーラム等の 関係団体やボランティア等と連携した事業展開が必要であるが、今後、行政の役割 も、事業の運営主体から企画・調整・助言へと移行し、関係団体やボランティア主体に よる事業運営を支援することが望ましい。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☒ 現状維持						

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている

B : 71～85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている

C : 56～70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある

D : 41～55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である

E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

◎外部評価委員の計画・意見等

評価項目		点数	判 定					点検・評価に関するコメント						
1	適応性 有効性	10	①	■	5	□	4	□	3	□	2	□	1	従来までの行政主体の運営から、関係団体やボランティア 主体の運営へ移行が進み良いことである。
			②	■	5	□	4	□	3	□	2	□	1	
2	目 標 達成度	9	③	■	5	□	4	□	3	□	2	□	1	
			④	□	■	4	□	3	□	2	□	1		
3	経済性	5	⑤	■	5	□	4	□	3	□	2	□	1	
			合計	24 /25	100点 換算	96 /100	ランク	A						